

令和3年度「県民Webアンケート」 第9回 奈良県の生物多様性について

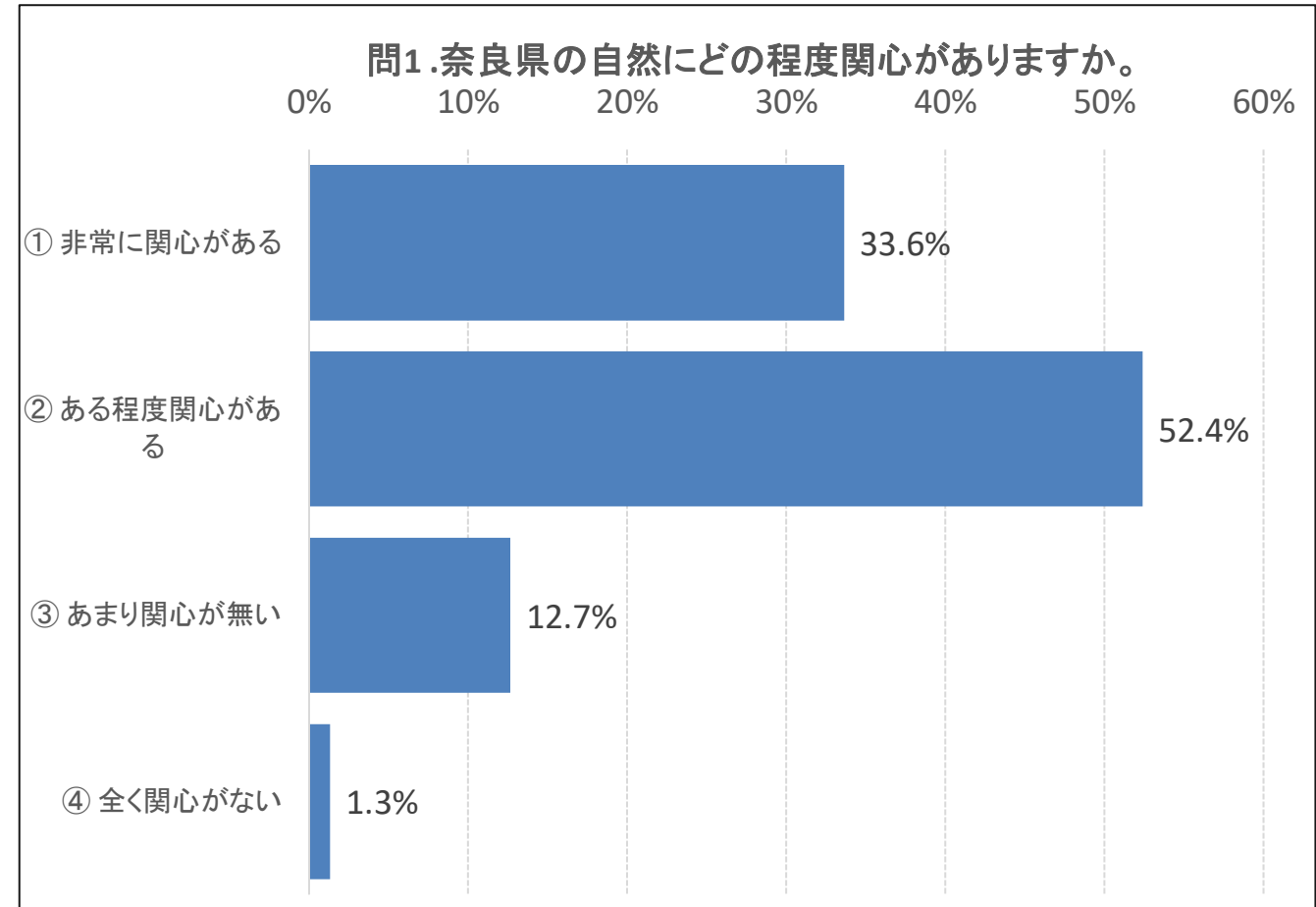
○実施期間 2021/10/27～2021/11/2

○アンケート会員数 268名 回収率 229件 (85.4%)

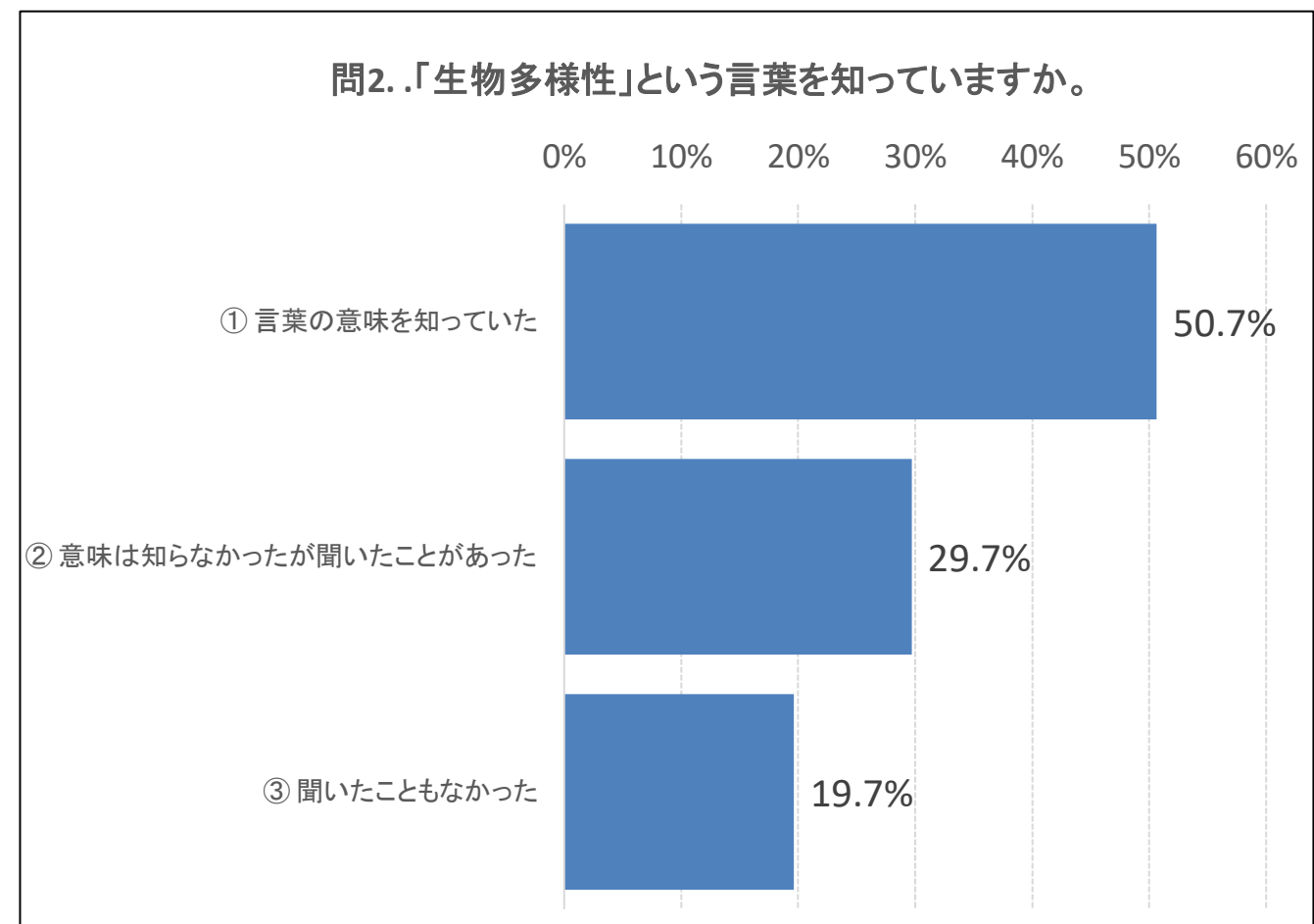
○平素より、県の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。

県では平成25年3月に生物多様性戦略を策定いたしました。同戦略では、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。そこで、皆様の生物多様性への意識や認知度について現状を把握するためアンケートを実施し、今後の取り組みに活用させていただきたいと考えております。ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

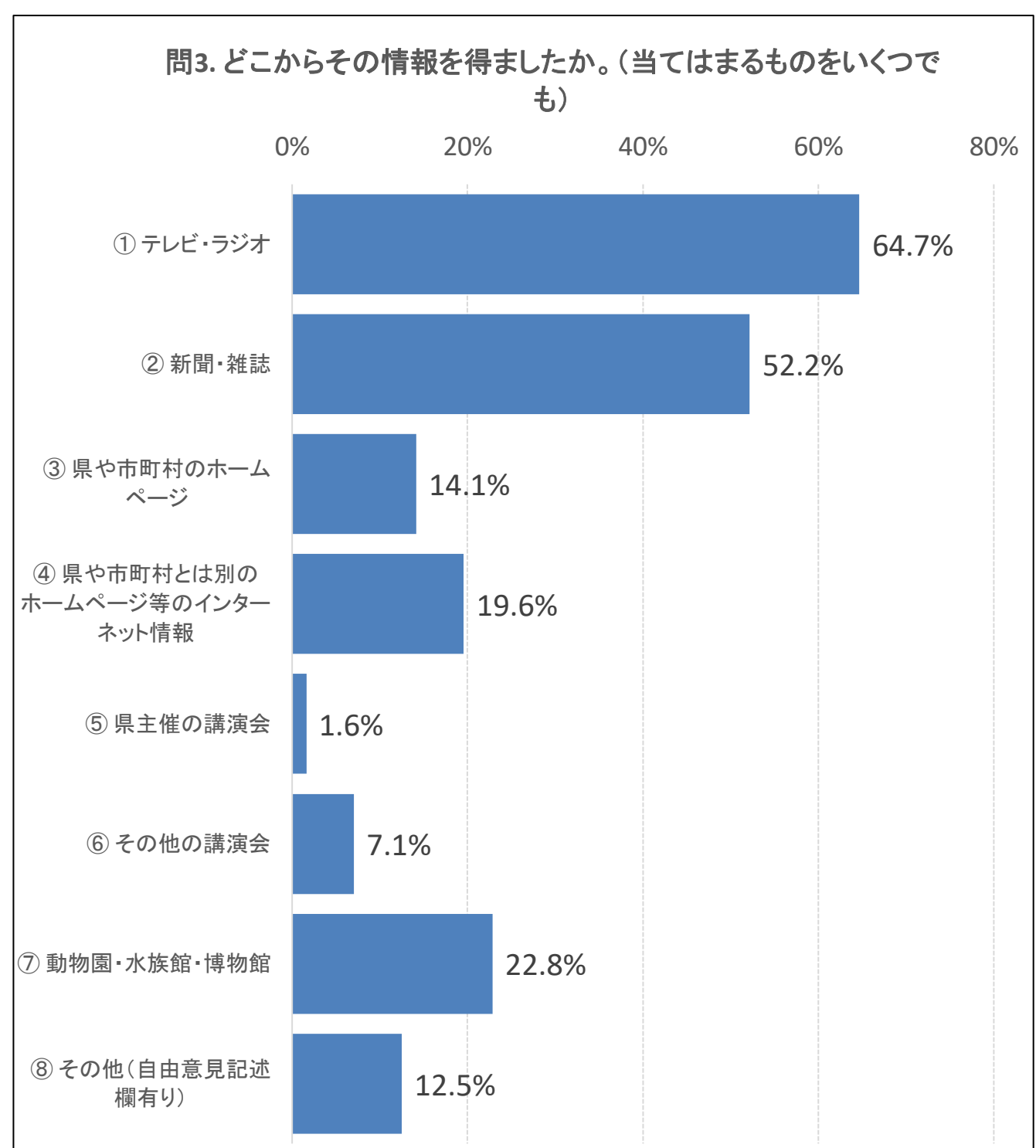
問1. 奈良県の自然にどの程度関心がありますか。	回答数	回答対象者	比率
① 非常に関心がある	77	229	33.6%
② ある程度関心がある	120		52.4%
③ あまり関心が無い	29		12.7%
④ 全く関心がない	3		1.3%
総計	229		100.0%



問2. 「生物多様性」という言葉を知っていますか。 (※生物多様性とは生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を有して生きていることです。)	回答数	回答対象者	比率
→この設問(問2)で「1. 言葉の意味を知っていた」又は「2. 意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方は問3へ 「3. 聞いたこともなかった」を選択された方は問4へ			
① 言葉の意味を知っていた	116	229	50.7%
② 意味は知らなかったが聞いたことがあった	68		29.7%
③ 聞いたこともなかった	45		19.7%
総計	229		100.0%

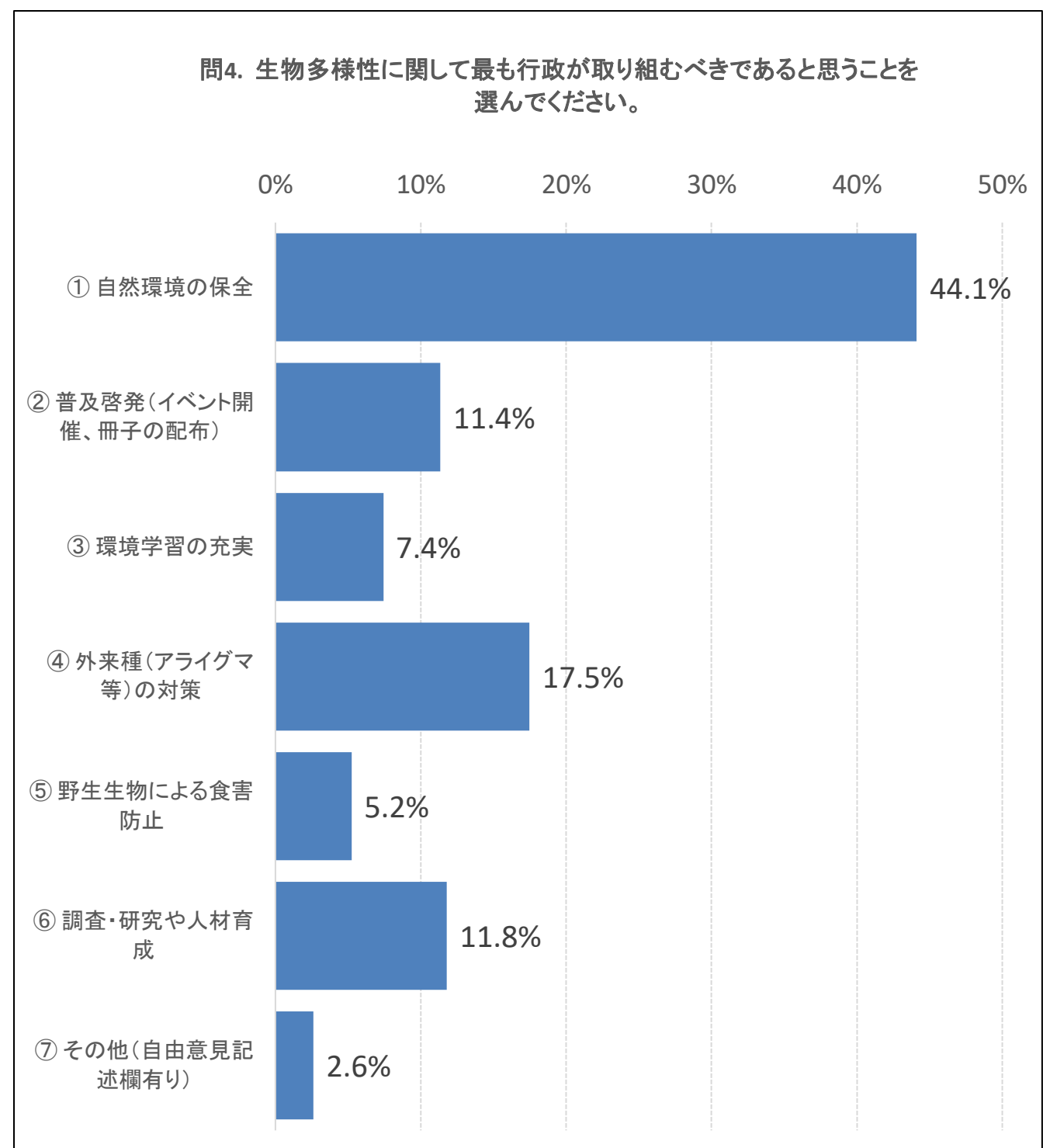


問3. 問2で「1. 言葉の意味を知っていた」、「2. 意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方にお聞きします。どこからその情報を得ましたか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
① テレビ・ラジオ	119	184	64.7%
② 新聞・雑誌	96		52.2%
③ 県や市町村のホームページ	26		14.1%
④ 県や市町村とは別のホームページ等のインターネット情報	36		19.6%
⑤ 県主催の講演会	3		1.6%
⑥ その他の講演会	13		7.1%
⑦ 動物園・水族館・博物館	42		22.8%
⑧ その他(自由意見記述欄有り)	23		12.5%
総計	358		-

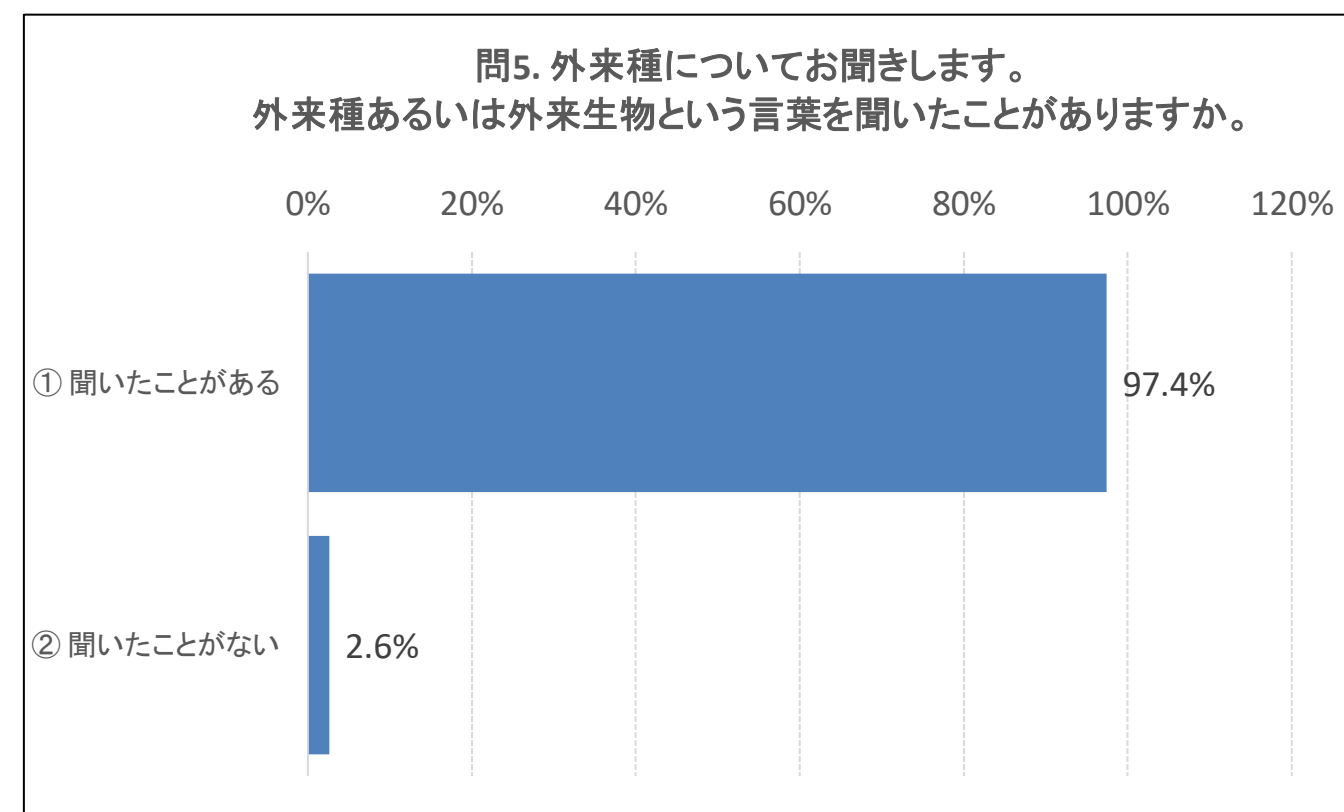


問4. 生物多様性に関して最も行政が取り組むべきであると思うことを選んでください。	回答数	回答対象者	比率
① 自然環境の保全	101	229	44.1%
② 普及啓発(イベント開催、冊子の配布)	26		11.4%
③ 環境学習の充実	17		7.4%
④ 外来種(アライグマ等)の対策	40		17.5%
⑤ 野生生物による食害防止	12		5.2%
⑥ 調査・研究や人材育成	27		11.8%
⑦ その他(自由意見記述欄有り)	6		2.6%
総計	229		100.0%

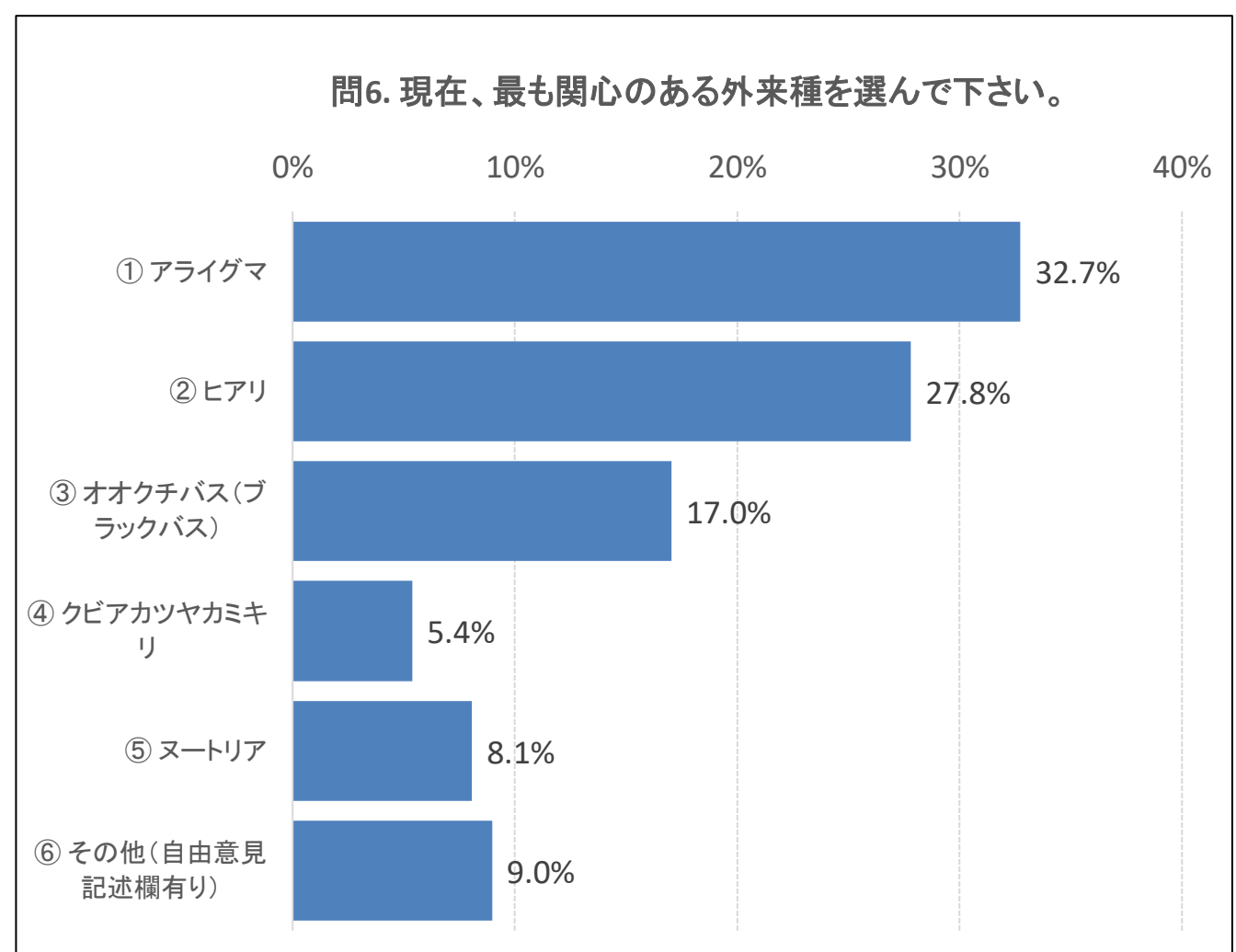
その他(自由意見記述欄)	一部抜粋
<p>①～⑥すべて大切に重要かと思えます。 なかなか優先順位をつけ難くもありますが、実効性のあるものが優先順位上位に来ると思いません。普及啓発は、知らしめるのみになり、やった感や予算消化には良いかもしれませんが、有効性、実効性には疑問です。とはいえ、有効な対策や予算獲得とそれを実施するうえで、県民も含め啓発活動を実施し、多数意見を獲得するための意識醸成は必要かと思えます。 人材育成は本件についてマネジメントする人材と実施する部門の人材と細分化、多岐にわたると思われ、両面について手当が必要、かつ、専門性を段階に分けて、実施する必要があると思われ、重要な事は、方向を誤らない事と、継続することかと思えます。</p>	



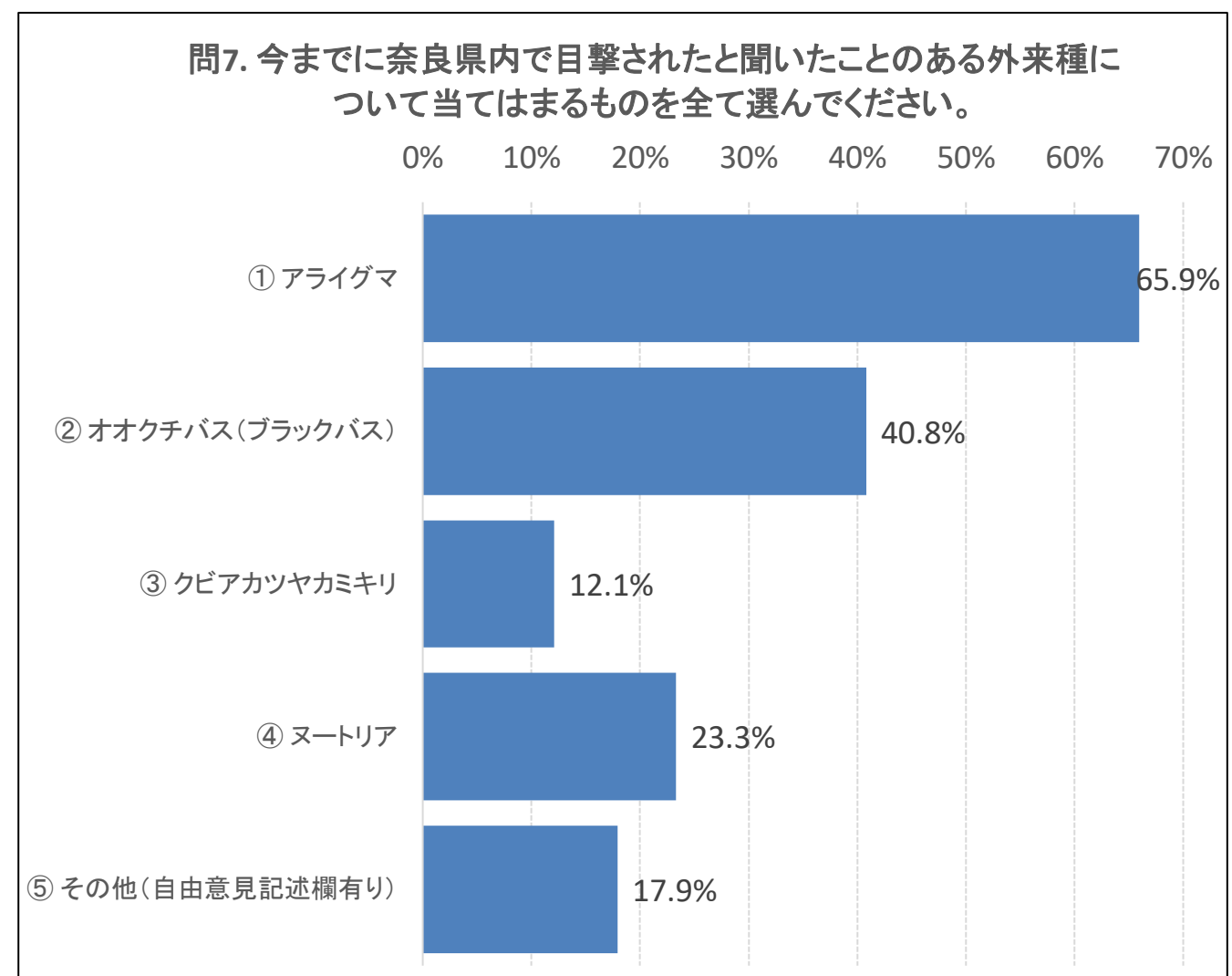
問5. 外来種についてお聞きします。外来種あるいは外来生物という言葉聞いたことがありますか。 ※外来種とはもともとその地域にいなかった生きもので、人間の活動によって他の地域から入ってきた生きもののことをいいます。 →この設問(問5)で「1. 聞いたことがある」を選択された方は問6、7へ「2. 聞いたことがない」を選択された方は問8へ	回答数	回答対象者	比率
① 聞いたことがある	223	229	97.4%
② 聞いたことがない	6		2.6%
総計	229		100.0%



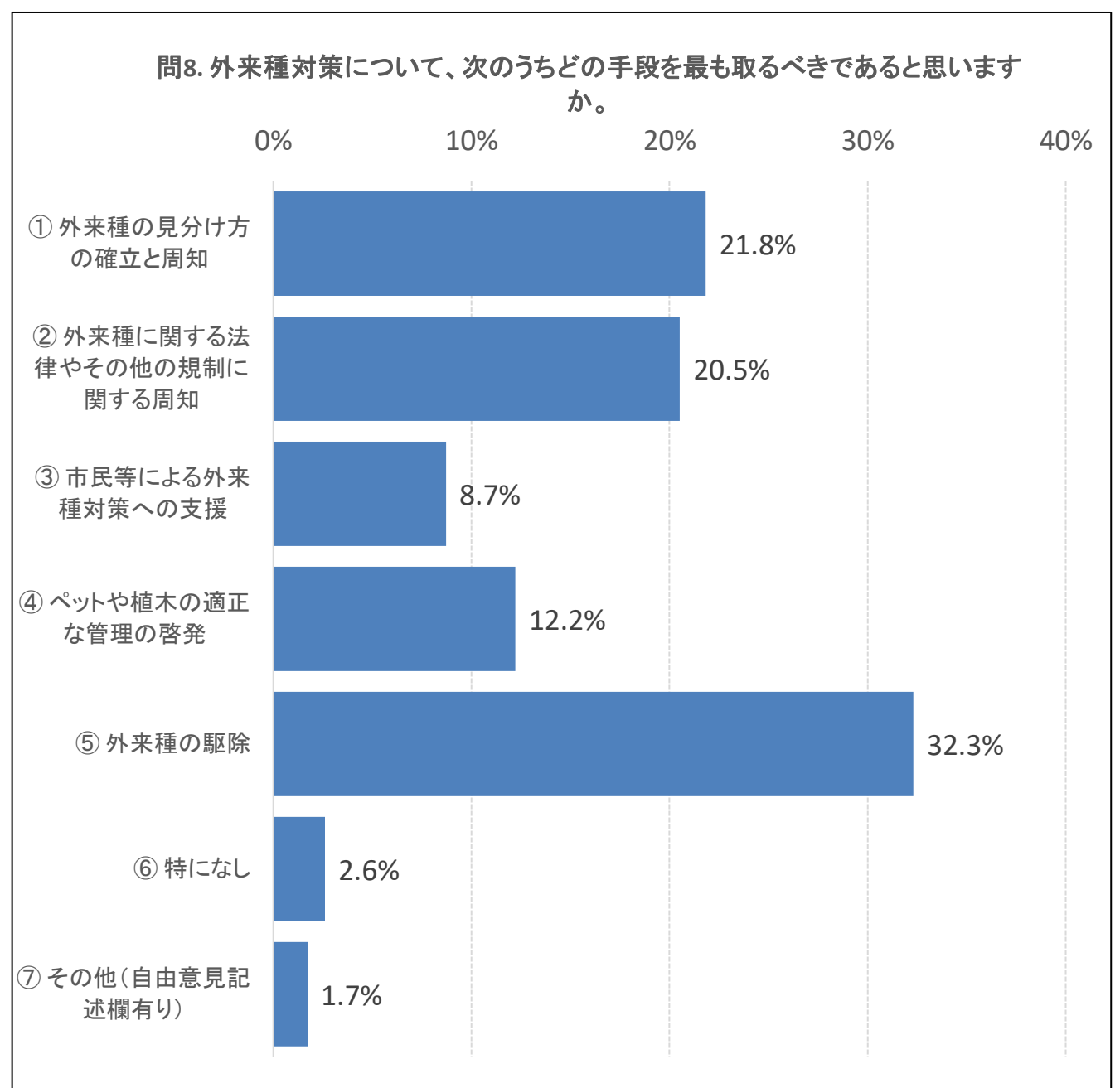
問6. 問5で「1. 聞いたことがある」を選択された方にお聞きします。現在、最も関心のある外来種を選んで下さい。	回答数	回答対象者	比率
① アライグマ	73	223	32.7%
② ヒアリ	62		27.8%
③ オオクチバス(ブラックバス)	38		17.0%
④ クビアカツヤカミキリ	12		5.4%
⑤ ニートリア	18		8.1%
⑥ その他(自由意見記述欄有り)	20		9.0%
総計	223		100.0%



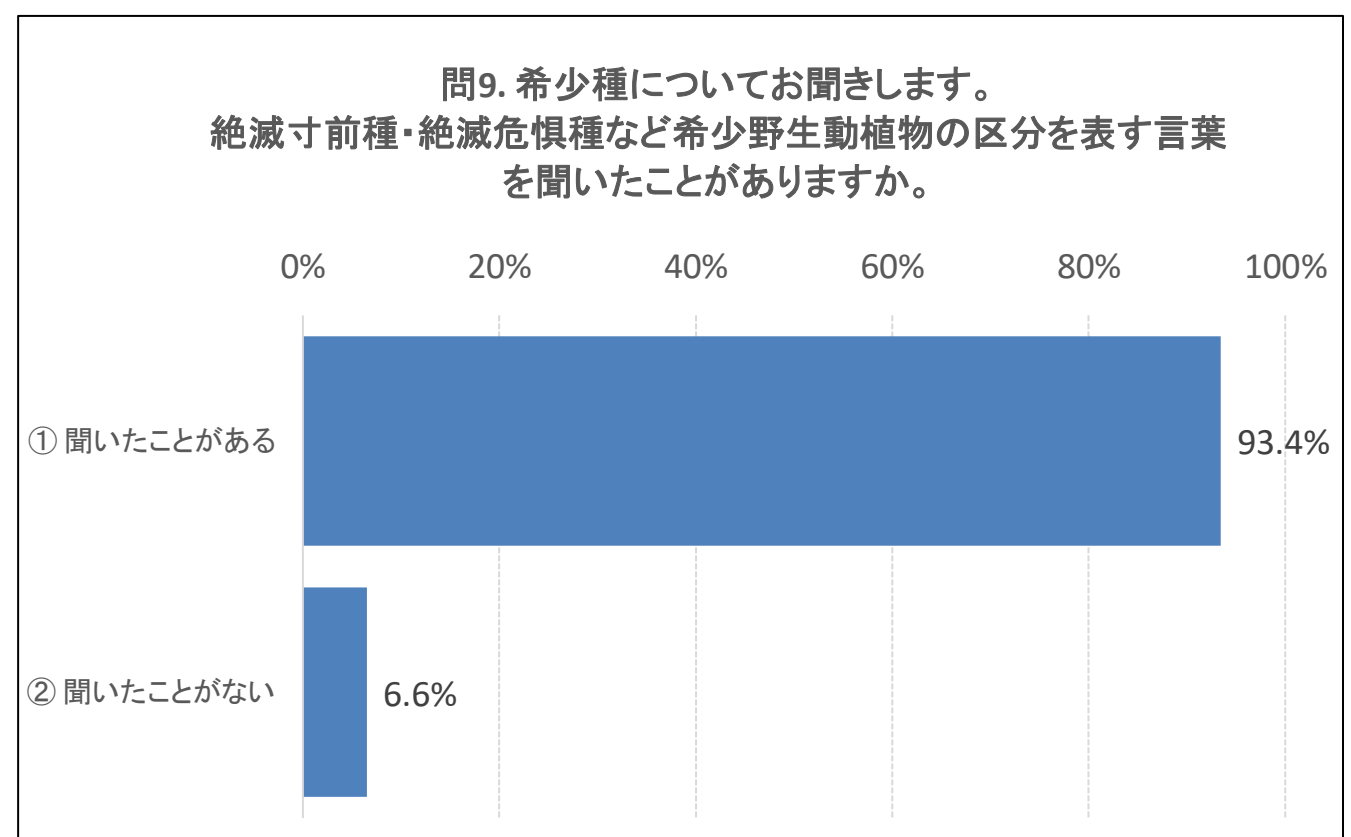
問7.問5で「1. 聞いたことがある」を選択された方にお聞きします。今までに奈良県内で目撃されたと聞いたことのある外来種について当てはまるものを全て選んでください。	回答数	回答対象者	比率
① アライグマ	147	223	65.9%
② オオクチバス(ブラックバス)	91		40.8%
③ クビアカツヤカミキリ	27		12.1%
④ ヌートリア	52		23.3%
⑤ その他(自由意見記述欄有り)	40		17.9%
総計	357		-



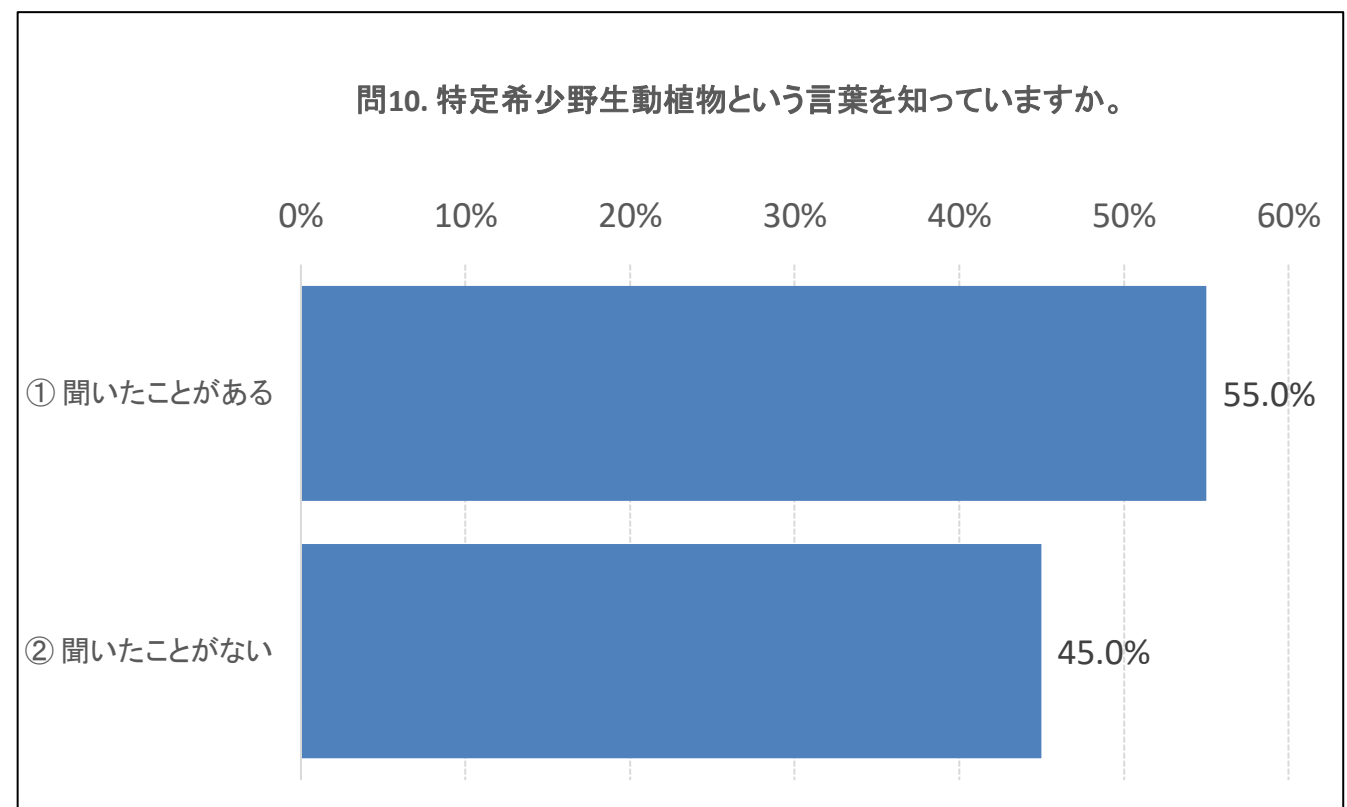
問8. 外来種対策について、次のうちどの手段を最も取るべきであると思いますか。 ※外来種の中には私たちの生活に欠かせない生きものもたくさんいますが、中にはもともとその地域にいるもの(在来種)を食べたり、在来種と交雑して雑種をつくってしまうものもあります。対策として、駆除の他に、飼っている外来種を野外に放たないようにする等の注意喚起も挙げられます。	回答数	回答対象者	比率
① 外来種の見分け方の確立と周知	50	229	21.8%
② 外来種に関する法律やその他の規制に関する周知	47		20.5%
③ 市民等による外来種対策への支援	20		8.7%
④ ペットや植木の適正な管理の啓発	28		12.2%
⑤ 外来種の駆除	74		32.3%
⑥ 特になし	6		2.6%
⑦ その他(自由意見記述欄有り)	4		1.7%
総計	229		100.0%



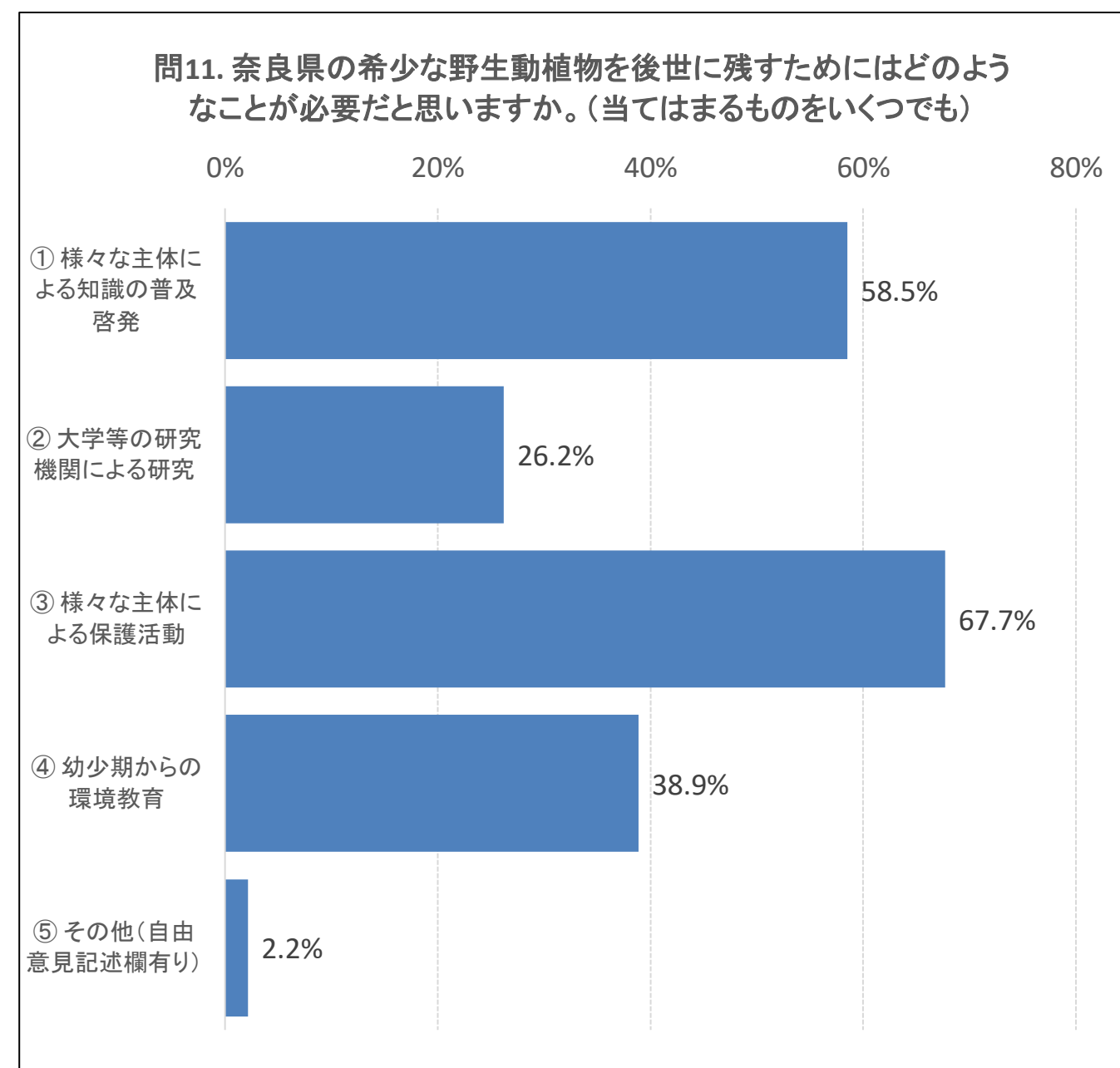
問9. 希少種についてお聞きします。絶滅寸前種・絶滅危惧種など希少野生動植物の区分を表す言葉を聞いたことがありますか。	回答数	回答対象者	比率
① 聞いたことがある	214	229	93.4%
② 聞いたことがない	15		6.6%
総計	229		100.0%



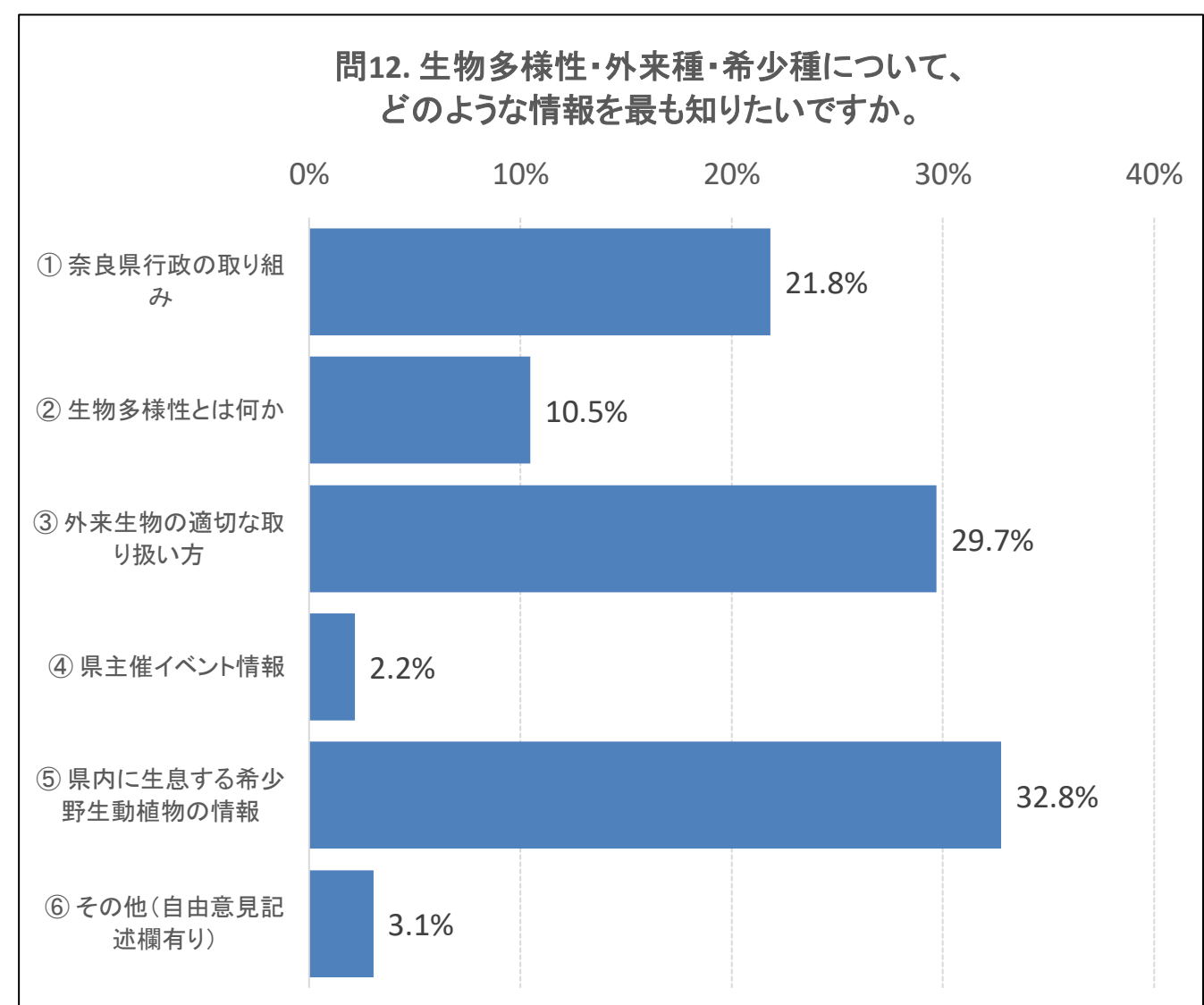
問10. 特定希少野生動植物という言葉を知っていますか。 ※奈良県希少野生動植物の保護に関する条例の中で特に保護をはかる必要のある動植物12種を「特定希少野生動植物」として指定し、保護をはかっています。	回答数	回答対象者	比率
① 聞いたことがある	126	229	55.0%
② 聞いたことがない	103		45.0%
総計	229		100.0%



問11. 奈良県の希少な野生動植物を後世に残すためにはどのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
① 様々な主体による知識の普及啓発	134	229	58.5%
② 大学等の研究機関による研究	60		26.2%
③ 様々な主体による保護活動	155		67.7%
④ 幼少期からの環境教育	89		38.9%
⑤ その他(自由意見記述欄有り)	5		2.2%
総計	443	-	-

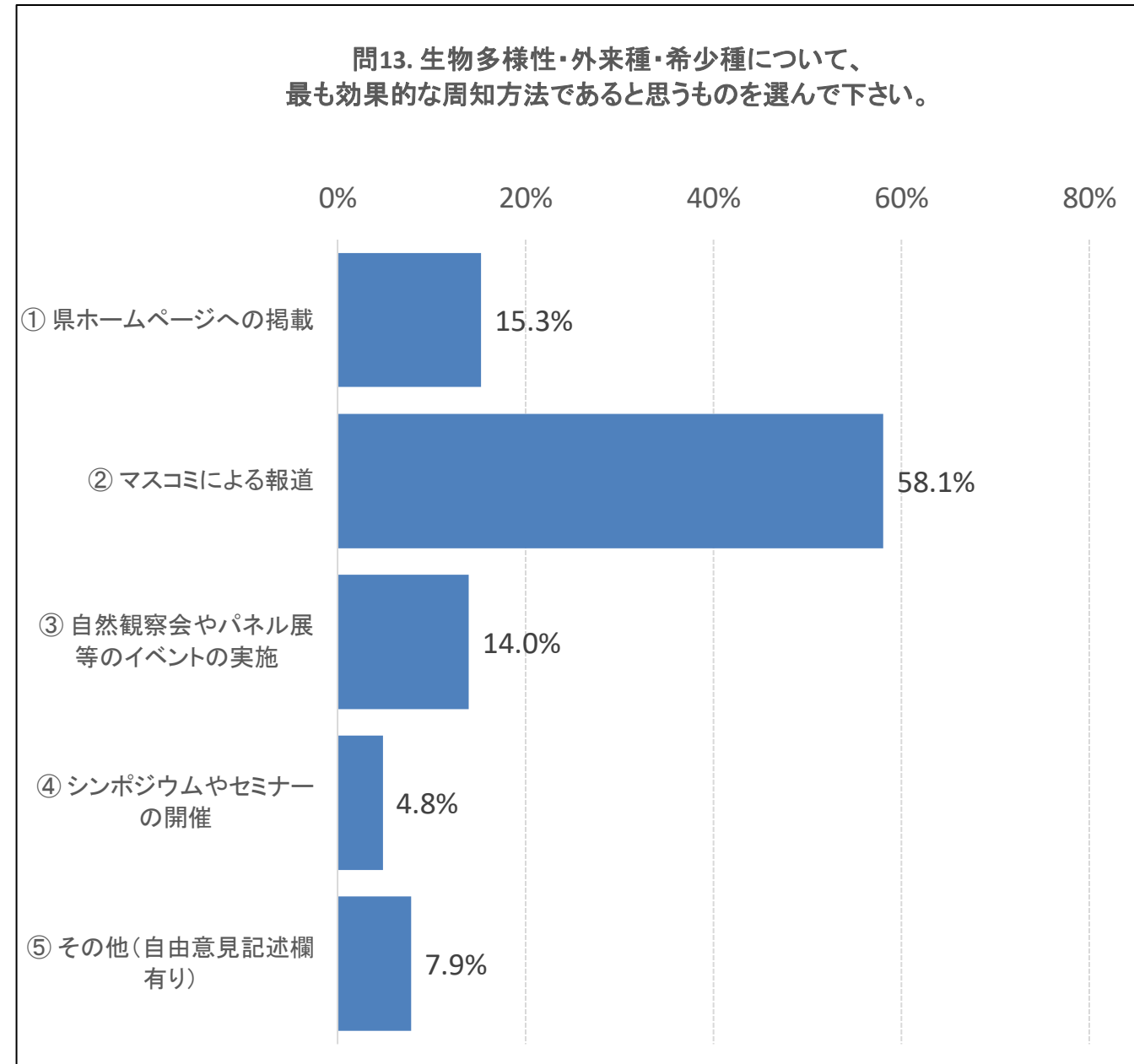


問12. 生物多様性・外来種・希少種について、どのような情報を最も知りたいですか。	回答数	回答対象者	比率
① 奈良県行政の取り組み	50	229	21.8%
② 生物多様性とは何か	24		10.5%
③ 外来生物の適切な取り扱い方	68		29.7%
④ 県主催イベント情報	5		2.2%
⑤ 県内に生息する希少野生動植物の情報	75		32.8%
⑥ その他(自由意見記述欄有り)	7		3.1%
総計	229	-	100.0%



問13. 生物多様性・外来種・希少種について、最も効果的な周知方法であると思うものを選んで下さい。	回答数	回答対象者	比率
① 県ホームページへの掲載	35	229	15.3%
② マスコミによる報道	133		58.1%
③ 自然観察会やパネル展等のイベントの実施	32		14.0%
④ シンポジウムやセミナーの開催	11		4.8%
⑤ その他(自由意見記述欄有り)	18		7.9%
総計	229		100.0%

その他(自由意見記述欄)	一部抜粋
<p>子供達へは保育園・幼稚園・学校などで資料を配って話を聞かせる。 耳と目から入ってきた情報は記憶に残ると思います。 また、紙媒体による各家庭へ周知が良いと思います。ホームページを見るなど、高齢者は使いこなせないし、若者もわざわざ興味がない限りそういったページなどにはアクセスしないと思います。</p>	



問14. その他、奈良の生物多様性についてのご意見・ご要望があれば自由にご記入下さい。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	42	229	18.3%
総計	42		18.3%

ご意見等	一部抜粋
<p>生物多様性について研究、保護活動については人類の存続と同じくらいの重要性があるような気がします。外来種・希少種についても多くの人類が知って個々が対応しないと、科学者だけがどんなに努力しても叶わない大きな問題であると考えられます。</p>	